



〒108-0071
港区白金台
3-7-1
(3443) 5666



<http://shirokanedai-kg.minato-tky.ed.jp/>



4・5歳 新宿御苑親子遠足



砂と泥の感触を味わいながら
園庭で遊ぶ3歳児



池のオタマジャクシ

園長 新井 智子

「みんなのいけ」のオタマジャクシは、少し見ない間に黒くまるまると大きくなっていました。水草や枯れ葉を縫うように群れて泳ぐ姿に、たくましさを感じます。テラスのオタマジャクシは手が出た、足が出たと報告を受けますが、池のオタマジャクシは、じっくりと養分を体内に蓄え成長の時を待っているようです。

今年も、子どもたちは登園後すぐにバケツやシャベルや虫メガネを手に、幼稚園の森探索に精を出しています。青虫を見付けたり、桑の実の赤い色に気付いたり、この時期は、さまざまな生物が子どもたちに発見の喜びや自然への興味・関心をもたらします。自然界の様々な営みや命に触れ、育ちや変化の過程を見て子どもたちは学び、好奇心を満たしていきます。野菜の苗がすくすくと生長していく嬉しさ、青虫がアゲハチョウになる喜びは、子どもたちの自然への関心を高めていくでしょう。しかし、自然の教えは、期待や喜びだけではありません。手のひらにのせ大事にしていた花が枯れたり、集めたダンゴムシが死んでいたり、生あるものの最後に出会うことも体験します。このことは、日々の生活の中で避けては通れません。子どもたちは、残念さと悲しさを「動かなくなった、枯れてしまった」現実と向き合って感じとり、生物の命の有限性を知ります。限りがあるからこそ大切にすることや世話をしたり守ってあげたりするやさしさを日々の生活の中で学んでほしいと思います。それは、きっと、自分や人の命の尊さにつながっていくものと信じています。

池の中の様々な自然の有機物を吸収して、じっくりと大きくなっているオタマジャクシのように、子どもたちも、じっくりと物事に向き合い、大切なことを感じ取り、心の軸を太くしてほしいと思います。

<今月の指導のねらい>

3歳児

- 所持品の始末や着替え、遊んだ後の片付けなど、幼稚園での生活に必要なことが分かり、教師に見守られながら自分ですらんとする。
- 好きなことや楽しいことを見つけて、繰り返し遊ぶことを楽しむ。
- のりやはさみを使った製作や新しいダンスなど、いろいろな活動に喜んで参加して楽しむ。

4歳児

- 生活に必要なことが分かり、所持品の始末や片付けなどに自分から取り組もうとする。
- 遊びに使う場所や物を作ったり、友達と同じ動きをしたりして遊ぶことを楽しむ。
- 身近な自然に触れて遊ぶことを楽しんだり、栽培物の変化や生長に関心をもったりする。



5歳児

- 遊びに必要な場や物を考えながら、友達と一緒に遊びをつくっていくことを十分に楽しむ。
- グループや学級の友達と考えを出し合いながら、目的に向かって活動を進めていく楽しさを味わう。
- 園内の自然物を遊びに取り入れたり、栽培物の生長や収穫を楽しみにしながら世話をしたりする。